

議事概要

開催日時：令和 4 年（2022 年）11 月 2 日水曜日 14:00

委員：別紙 1（委員名簿等）記載のとおり（委員 8 名中 8 名出席）

関係者：国土交通省 港湾局 海洋・環境課（2 名）ほか

事務局：ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（5 名）

【議事要旨】

1. 本委員会の委員長として、委員の互選により佐々木淳委員が選定された。委員長は、会議の開会を宣言し、議事に入った。
2. 最初に、藻場面積の確実性及び吸収係数の確実性（以下、これらを併せて「確実性」という。）の評価に関する一般的な考え方に関する審議・検討が行われた。
3. 次に、本会議の開催前に提出され、委員らが会議前に検討した別紙 2 記載の各申請（委員らによる事前確認済みのもの）のうち、重点的に審議すべきものを中心として審議検討が行われ、特に、それらの確実性の評価等に関する審議が具体的になされた。
なお、各申請につき助言その他の利害関係を有するおそれがあるものとしてあらかじめ申告していた各委員ら（別紙 2 「審議等各委員欄記載の委員ら」）は、当該各申請の具体的な審議がなされる際には、離席その他の方法により審議に適宜参加せず、これにより、その審議の公正さを手続的に確保し、適正手続の要請を満たすべきこととされた。
4. 以上を受けて、出席委員らの全員の賛成により、以下のとおり決議された。
 - (1) 停止条件付決議
当委員会は、当委員会の事務局をして、各申請の申請者（ら）に対し、本会議の審議内容等を踏まえ、前記の確実性その他の点につき、申請書等の補正等及び再提出を促すことを求め、その補正等及び再提出され、その内容が確認等されることを停止条件として、(ア)及び(イ)に各記載のとおり決議する。
 - (ア) 必要に応じ補正等された後の各申請書等に基づく各申請に係るプロジェクトについては、「J ブルークレジット®審査認証の手引き」の記載その他の所定の要件を満たすものとして、いずれも承認されるべきものである。
 - (イ) 必要に応じ補正等された後の当該各申請に係るプロジェクトの実施に伴う CO₂ 吸収量として申請された数量[t-CO₂]については、「J ブルークレジット®審査認証の手引き」その他の所定の要件を満たすものとして、それぞれ認証されるべきものである。
 - (2) 停止条件の成就の確認等の手続き
当委員会の事務局は、前記の各申請書等の補正内容を確認等した上で、委員らに対しこれらの記載内容を送信し、確認する機会を設けるものとする。当該各申請書等に基づく各申請に係る J ブルークレジットを認証されるべきものとするものの可否については、委員長にその決裁を一任する。
5. 以上のとおり審議・採決を行い、委員長は会議の閉会を宣言し、会議は終了した。

J ブルークレジット審査認証委員会（令和4年度）

別紙1

委員名簿等

令和4年（2022年）11月2日現在

	氏名	所属等	専門分野	
委員	池田 陸郎	カーボンフリーコンサルティング株式会社 取締役 国内事業本部 国内事業本部長	クレジット算定・検証・認証、 オフセット制度等	出席
委員	岡田 知也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 海洋環境・危機管理研究室長	沿岸環境、生態系サービス等	出席
委員長	佐々木 淳	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授	沿岸環境、環境再生等	出席
委員	鈴木 健司	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター センター長兼検証審査部長	クレジット算定・検証・認証、 オフセット制度等	出席
委員	中西 敬	徳島大学環境防災研究センター 客員教授	生態系工学、沿岸域の環境修復	出席 [オンライン]
委員	長谷川夏樹	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源開発センター 沿岸生態系寒流域研究グループ 主任研究員	水産増養殖、海藻類等	出席
委員	三戸 勇吾	復建調査設計株式会社 東京支社 第一技術部 環境課 課長	浅海生態系、生態系サービス等	出席
委員	吉原 哲	八千代エンジニアリング株式会社 国内事業部 環境計画部 技術第二課 課長	ブルーカーボン、オフセット制度等	出席

令和4年度（2022年度）申請一覧

No.	申請書日付	プロジェクトの名称	審議等回避申告
1	令和4年10月26日	神戸空港島緩傾斜護岸におけるブルーカーボン創出活動	中西委員
2	2022年9月30日	山口県下関市特牛地先・磯守ブルーカーボンプロジェクト	
3	令和4年9月26日	榛南地域における藻場再生プロジェクト	
4	令和4年9月30日	御前崎港久々生（くびしょう）海岸里海プロジェクト	
5	2022年10月19日	～魚庭の海・阪南の海の再生～ 「海のゆりかご再生活動」	
6	2022年9月30日	大分県名護屋湾・磯守ブルーカーボンプロジェクト	
7	令和4年10月14日	似島二階地区藻場造成・保全プロジェクト	
8	2022年10月24日	関西国際空港 豊かな藻場環境の創造	
9	2022年10月28日	岩手県洋野町における増殖溝を活用した藻場の創出・保全活動	
10	2022年10月27日	島根原子力発電所3号機の人工リーフ併用防波護岸による藻場造成	
11	2022年10月28日	北海道増毛町地先における鉄鋼スラグ施肥材による海藻藻場造成	佐々木委員
12	令和4年9月20日	兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり	中西委員
13	令和4年9月20日	串浦の美しき藻場を未来へ繋げるプロジェクト	
14	2022年10月31日	岩国市神東地先におけるリサイクル資材を活用した藻場・生態系の創出プロジェクト	三戸委員
15	2022年10月30日	三重県熊野灘における藻場再生・維持活動	
16	令和4年9月30日	大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港	
17	2022年10月28日	明石市江井島周辺を中心とした藻場造成「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト	
18	令和4年9月30日	尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり	岡田委員、三戸委員
19	令和4年9月30日	五島市藻場を活用したカーボンニュートラル促進事業	長谷川委員
20	2022年10月13日	J-Power 若松総合事業所周辺護岸に設置したブロックによる藻場造成プロジェクト	
22	2022年9月30日	葉山町の多様な主体が連携した海の森づくり活動	